

たつのまち 議会 だより



辰野町イメージキャラクター
びっかりちゃん

編集・辰野町議会広報編集委員会
発行・辰野町議会
発行日・令和4年5月1日



辰野町議会

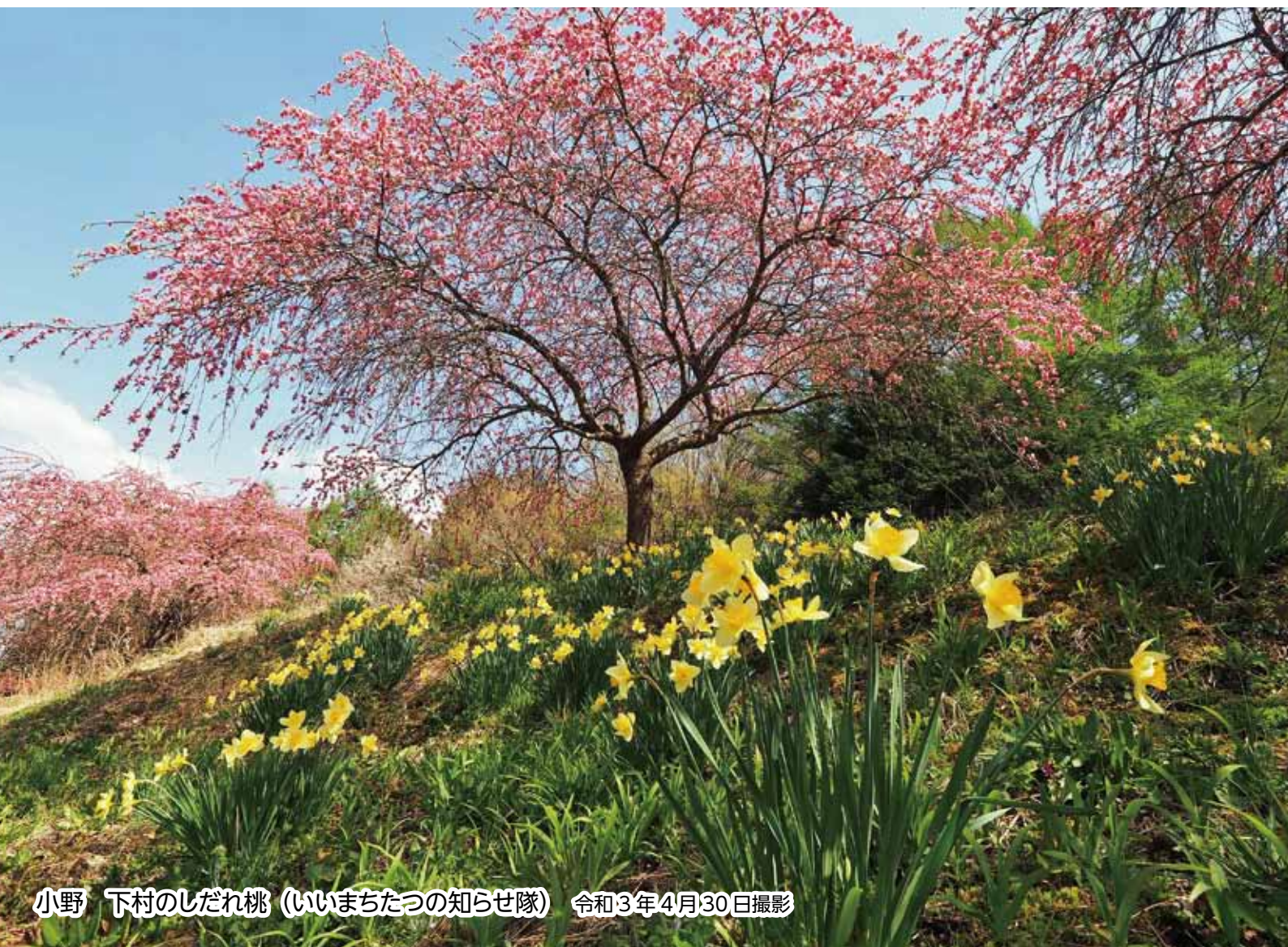


Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

令和4年度予算可決 各補正予算可決

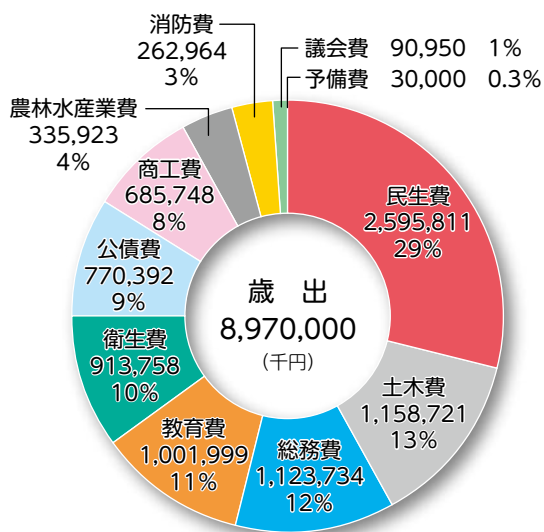
3月定例会・1月臨時会報告	2
総務産業常任委員会レポート	5
福祉教育常任委員会レポート	8
一般質問	10
議会広報全国表彰受賞	17
女性タウンミーティングお知らせ	17
町民の声	18



令和4年度予算・ロシア侵略非難決議等可決

令和4年3月定例会が2月28日から3月17日まで開かれ、議案は全て可決しました。
以下に議案と質疑討論の概要をご報告します。

過去最大・令和4年度一般会計予算 89億7千万円（前年比4.3%増）



令和4年度一般会計歳出目的別内訳

<主な歳出と質疑>

●民生費 前年度比1億7,497万円増



問 保健福祉センターぬくもりの里の空調設備改修の補助率は。

答 70%が交付税措置され、5,166万円補助される。

問 生活困窮者就労支援事業の相談支援体制は。

答 委託先の社協で1名確保できている。

●土木費 前年度比8,597万円増



問 舗装工事の箇所と地元負担率は。

答 地元負担率は15%。区要望は1億2千万円分ほどあるが、3千万円の予算の範囲で平等になるようにしている。

●総務費 前年度比8,025万円増



問 災害活動支援チームの構成は。

答 現場に精通した意欲ある大学生以上で構成する。

問 公共施設等総合管理計画改訂・個別施設計画策定は、どう進めるのか。

答 公営住宅等、今ある個別計画は出来るだけ活かし、個別計画のないものを対象にする。

●教育費 前年度比28万円減



問 シダレグリ自生地の特定外来種処分は、指定区域の周辺も行うのか。

答 区域内の抜き取り作業を中心に行い、周辺は花が咲く前の刈り取りで対応している。

問 わかたけ会館の利用状況は。

答 実質的に使用されていない。現在は倉庫として使用している。今後の使用方法を検討する。

●衛生費 前年度比4,643万円増



問 町地球温暖化防止実行計画の内容は。

答 公共施設を対象として、利用実績を拾い出し対策を検討する。また町全体を対象に、基礎調査と企業への働きかけやワークショップなどを行う。

●公債費 前年度比1,572万円減



●商工費 前年度比380万円減



問 トビチホテルは、既存宿泊施設と競合しないか。

答 食事などの機能を周りに分散させるので、競合しない。

●農林水産業費 前年度比217万円増



問 かやぶきの館の修繕費について、町と管理者の分担内容は。

答 1件50万円以下のもので年間350万円までは管理者が負担。予測できない故障が多く、その都度対応している。



かやぶきの館

令和3年度一般会計補正予算 総額2億4,991万円増額

(主な内容)

パークホテル・かやぶきの館指定管理料増額 4,546 万円、
5 施設指定管理者支援金 2,600 万円、
コロナ第 6 波事業者支援金 2,400 万円、
荒神山体育館改修 3,400 万円、減債基金積立 9,456 万円



パークホテル

○補正予算修正動議 指定管理料増額・指定管理者支援金 計 7,146 万円を削除：賛成少数で否決

【提案理由】 吉沢 光雄

主にパークホテル・かやぶきの館指定管理者の赤字全額補てん部分の削除を求めるもの。なぜ全額補てん、なぜ2施設なのか。これだけの予算を使い特別扱いするのに、町民への説明が不十分。よって再検討を求める。

【賛成】 瀬戸 純

民間事業者が必死にやりくりしている中で2年続けて減収の赤字補てんは町民の福利厚生施設としても不公平を拡大し、財政負担の歯止めが無くなる恐れがある。他施設の指定管理者支援金とともに再検討が必要。

【反対】 向山 光

コロナ禍による損失補填であり、国からの補助金や交付金を財源にしている。町民にとって必要な施設を存続させるために町と指定管理者の協議に基づいて決めたものであり、指定管理者のやる気に応えるべきだ。

【反対】 小澤 睦美

この修正議案は、主に町の2つの公営施設の指定管理料を削除するもの。しかし、両施設とも町との協定により5年間、管理運営を業者に委任している。コロナ禍のなか補正を削除すると、施設の維持管理が出来なくなる。

○賛否の判断

動議賛成・原案反対 吉沢、瀬戸

動議反対・原案賛成 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、小林、古村、向山

その他の議案審議結果 (全会一致で可決)

議案名 (略称)		内容
予算関係	令和4年度 各種特別会計予算	上水道、下水道、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者、辰野病院、情報告知システム、介護保険 各会計
	令和3年度上水道補正予算 (第5号)	資本的支出 2,500 万円減 災害事業費査定による
	令和3年度介護保険補正予算 (第3号)	収入支出 108 万円減 一般会計繰入減額ほか
条例改正	公告式条例の一部改正	行政文書への押印・性別記入廃止のため
	個人情報保護条例の一部改正	個人情報保護関連法の改廃・統合への対応
	職員の育児休業条例の一部改正	会計年度任用職員の育休・介護休暇の取得要件緩和
	一般職職員給与条例の一部改正	医師確保のため近隣自治体との均衡を図る
	非常勤職員・消防団員給与条例の一部改正	消防庁の基準に基づく消防団員の処遇改善
	消防団員公務災害条例の一部改正	国民年金法改正への対応
	国民健康保険税条例の一部改正	未就学児の保険税均等割部分を2分の1軽減
	国民健康保険基金条例の一部改正	国保基金取扱いの柔軟化
	町営住宅管理条例の一部改正	小野町屋敷団地の廃止
	町営住宅・優良賃貸住宅管理条例の一部改正	法改正に伴う改正と現状に合わせた表記の訂正
辰野病院設置条例の一部改正	居宅介護支援事業と介護予防支援事業の追加	
その他	公の施設の指定管理者の指定	4 施設の指定管理者を承認
	町道廃止及び変更	北沢東工業用地造成に伴う町道改廃
	農業委員の任命	7 名の農業委員任命を同意
	工事請負契約	8 月豪雨災害復旧工事渡戸地区 5,390 万円 松田建設

陳情・請願「私たちはこのように討論、判断しました。」

陳情・請願		委員会	本会議	意見書
陳情 第1号	森友改ざん問題、国会で真相究明を (提出者) 矢澤 親男	不採択	不採択	なし
	【陳情に賛成 吉沢】 安倍昭恵夫人が名誉校長を務めた学校の用地として、国有地が8億円値引きして売られた問題。権力者のお友達への優遇、公文書改ざん・偽証など政治腐敗の象徴的な事件であり、再発を防ぐ為にも国会で真相が究明されるべきだ。			
請願 第2号	ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める請願 (提出者) ミャンマー民主化を支援する信州の会 代表 若麻績 敏隆 (紹介議員) 向山 光	採択	採択	あり
文書 配布	母(毛嘉萍)が中国で不法に逮捕されている件に関する要望 (提出者) 付 偉 彤	全議員へ配布		
文書 配布	ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い (提出者) ウイグルを応援する全国地方議員の会 会長 丸山 治章ほか3名 特定非営利活動法人 日本ウイグル協会 会長 于田 ケリム	全議員へ配布		

【賛否が分かれた陳情への賛否は以下のとおり】

- 陳情第1号 (陳情に賛成) 吉沢、瀬戸、向山
(陳情に反対) 松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤、小林、古村

発議した意見書・決議

○ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める意見書(要旨)

わが国はミャンマー連邦共和国に対して、民主化や経済発展を全面的に支援してきた。しかしクーデター以降、国軍と警察の暴力で多数の死傷者や拘束者、難民が発生したことは、断じて容認できない。よって、国会及び政府は、ミャンマー国軍指導部に対して、残虐行為の停止、不当に拘束された人々の解放、民主的な政治体制の回復、避難民への緊急支援などに取り組むよう要請する。

○ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議(要旨)

ロシアによる軍事侵攻は、国際社会の平和と秩序を脅かし、生命・安全の権利を侵害するもので、断じて容認できない。都市が攻撃され、市民の人命が奪われており、ウクライナの主権侵害は明白な国際法違反だ。これを許すことは国際社会の平和と安全への脅威で、国民生活や企業活動への影響が懸念される。よってロシアが直ちに侵攻を中止し撤退することと、1日も早い平和的解決を強く求める。



ウクライナ人道危機救援金募金箱

臨時会 (1月21日)

全議案を全会一致で可決しました。

●令和3年度一般会計補正予算(第15号)

- (1億3,052万円追加・町長専決を承認)
・子育て世帯臨時特別支援事業追加給付
(対象者1人5万円分)

●令和3年度一般会計補正予算(第16号)

- (3億732万円追加)
・原油高騰対策支援金 575万円
(事業者支援220万円、施設園芸農家支援120万円、福祉施設支援235万円)
・8月豪雨農業施設災害復旧事業 1億1,470万円
・8月豪雨林道施設災害復旧事業 1億7,959万円
・北沢東工業用地関連排水管布設工事設計委託料
348万円

●令和3年度下水道会計補正予算(第2号)

(収益的収入支出 各1万円追加)

●町道路線の認定

(平出・県道改良に伴う宅地造成による)

●町道路線の変更

(下田踏切の改良工事に伴うもの)



林道西部線3号箇所



平出宅地造成地

総務産業常任委員会

令和4年度 事業会計・特別会計予算審査

◆上水道事業会計

安心、安全で廉価な水道水の安定供給のため、施設の適正な維持管理等計画的に行う。

(主な事業)

- ・中央水源送水ポンプ2号機他更新
- ・兎洞(うさぎどう)水源導水管布設替え
- ・膜ろ過装置設置(川島地区、小横川地区)

◆予算額 7億6,436万円

前年度比 4,110万円増

問 漏水調査予定地域で漏水箇所はわかっているか。

答 漏水が大きい場所は推定できている。

◆下水道事業会計

安定した下水処理推進のため施設の長寿命化事業を計画的に継続する。

(主な事業)

- ・下水道ストックマネジメント関連事業
- ・辰野水処理センター耐震事業

◆予算額 17億8,014万円

前年度比 2,616万円減

内一般会計繰出金

5億2,981万円

前年度比 0万円

◇質疑 特になし。



下水道マンホール蓋

◆地域情報告知システム特別会計

供用開始から11年目を迎え、維持管理、運用コストを抑えながら将来のシステム切り替え準備のため、個人への情報伝達手段移行を検討する。

◆予算額 1,462万円

前年度比 63万円減

◇質疑 特になし。

以上、事業会計・特別会計予算の3議案について、特に異議はなく委員全員一致で可決すべきものと決しました。



詳細な説明を受ける現地調査

町長への要望

★公共施設等総合管理計画改訂・個別施設計画の策定を、指定管理施設を中心にあり方を見直す機会をとらえ、健全な運営が行われる計画の策定を

町長

今後、増加が想定される維持管理、更新等経費を把握し、優先順位や整備方針の検討でトータルコストの縮減、平準化を図る。指定管理者等と協力し、施設に応じた健全な管理運営を行う。

★高齢化社会を見据え、ドアツードアを基本としたデマンドタクシーを検討する中で、町民に寄り添った公共交通手段の実現を

町長

高齢化社会を迎えた今日、デマンドタクシーの仕組みを再構築する意義は大きい。移動や時間的な制約をなくし、利便性を向上させるための公共交通の構築と実現を目指す。

★各区より要望の多い町道の修繕等、社会インフラ整備の実現に向けて、町のさらなる努力を

町長

現在実施している箇所の早期完了と新たな箇所の事業採択に向けて国県へ要望していく。各区の要望箇所は、区役員をはじめ関係者と相談をし、優先順位をつけ効率的に対応する。

★新型コロナウイルス感染症拡大や国際情勢不安等により、町民・事業者の生命や生活、営業等を守る、さらなる支援を

町長

国の地方創生臨時交付金等を活用し、感染拡大防止対策の徹底、雇用の維持と事業継続、経済活動の回復、新たな経済構造の構築に取り組んでいる。ウクライナ情勢による影響等も今後の状況を注視しながら、住民の暮らしと地域経済を守るため必要な措置を随時講じていく。

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

◇趣旨 医師の人材確保が難しい情勢を踏まえ、近隣自治体病院の給料表を調査し、整合性を図る必要があるため給与を引き上げる条例改正で、本給を上げるもの。

問 近隣病院と比べ、どの程度差があるか。

答 病院ごと給料が異なり見直しをした。



辰野病院

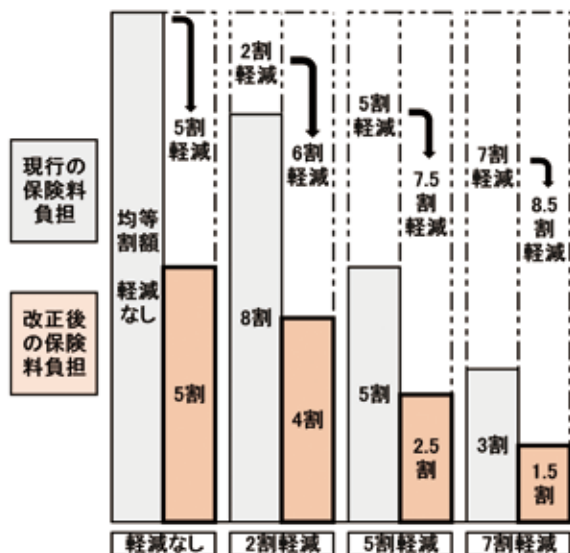
◆国民健康保険税条例の一部改正

◇趣旨 国民健康保険の子育て世帯に対して、未就学児（6歳に達する日以後3月31日まで）の被保険者均等割部分を1/2に軽減するもの。

問 当町の均等割額及び国県の負担割合は。

答 医療給付費分は均等割額1人2万1,000円。負担割合は、国1/2、県1/4、町1/4。

子育て世帯の軽減イメージ(未就学児一人に付き)



◆町営住宅管理条例の一部改正

◇趣旨 公営住宅等長寿命化計画により町営住宅町屋敷団地を廃止する。

問 町営住宅として建替えしない理由は。

答 地元区から若者を増やしたいとの要望があり、若者向けの宅地造成をする。

◆町営住宅管理条例及び地域優良賃貸住宅管理条例の一部改正

◇趣旨 関係法令等の改正と公営住宅の現状に合わせた表記に訂正する。

◇質疑 特になし

◆公の施設の指定管理者指定

◇趣旨 4施設の指定期間終了に伴い公募によらない指定で、現在の指定管理者を選定。(指定期間)

令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)

◇選定理由 令和2年度までの評価で指定管理料に見合う適正な業務内容と安定した経営状況であると評価した。

◇審査結果 基本協定書、事業報告書、収支報告書、事業計画の提出をもとめ事業内容を確認したところ、健全な経営を行っている判断した。

名称	指定管理者
辰野町 ボランティアセンター	社会福祉法人 辰野町社会福祉協議会
辰野町 老人福祉センター	
辰野町 地域活動支援センター	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団
辰野町 生活支援センター	株式会社 みらい福祉会



辰野町ボランティアセンター



辰野町老人福祉センター

以上、条例案5件について、特に異議はなく全員一致で可決すべきものと決しました。

請願・陳情審査

◆陳情第1号

森友改ざん問題、国会で真相究明を（陳情）

◆趣旨 公文書改ざんを強要され自ら命を絶った財務省職員赤木さんの妻が起こした裁判は、実質的な審理に入らないまま結審しました。国はこの問題を国会で真相究明し正す責任があり、国に意見書を提出するよう陳情するものです。

◆審査における主な意見

- ・非常に許しがたい事件ではあるが、国が「認諾」し既に結審している。これ以降は司法の場となり意見書提出には反対する。
- ・国の組織的な犯罪であり国会で真相を究明すべき。意見書提出に賛成である。
- ・既に国が「認諾」し町議会レベルの話ではないため意見書提出は反対である。

採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。（陳情賛成1、反対5）

◆請願第2号

ミャンマーにおける軍事クーデターを非難し民主的な政治体制の早期回復を求める請願

◆趣旨 ミャンマー国軍のクーデター発生から1年が過ぎ、いまだ国軍の暴力をとどめる有効な手立てを見いだせないまま、ミャンマー国民は焦燥感と絶望感にさいなまれています。軍事クーデターは民主化への努力と期待を踏みにじるものです。

日本政府へより積極的で有効な行動の取行を提言するよう請願するものです。

採決の結果、特に異議はなく委員全員一致で採択すべきものと決しました。

本定例会に意見書を提出します。

現地調査した令和4年度予算の主な事業はこれ！

小野町屋敷団地跡地宅地造成工事



町 小野町屋敷団地の跡地を宅地造成します。

議会 日当たりも良くて小学校も近い。若い世代の方に家を建ててほしい。

社会資本整備総合交付金事業町道14号線工事(上島・唐木沢) 国庫補助道路メンテナンス事業中の橋補修工事(上島・唐木沢)



町 エポキシ樹脂を注入し、橋の強度を回復します。今後、舗装修繕も検討します。

中央水源送水ポンプ2号及び電動弁更新工事



町 現在は1号ポンプのみで送水しています。出来るだけ早く2台体制に戻す必要があります。

荒神山公園日除け施設設置工事



町 たつの海横の遊具近くに日除けシェルターを設置します。

議会 景観を大切にしたいデザインにして。

福祉教育常任委員会

令和4年度 特別会計・事業会計予算

◆国民健康保険特別会計

少子化や団塊の世代の後期高齢者への移行などが大きな要因となって、後期高齢者医療保険加入者が国民健康保険加入者を逆転した。

◆予算額 20億2,169万円

前年度比 1,802万円減

問 国保会計でのジェネリック医薬品の普及効果は。

答 130通の通知をした。通知後に使用率が上がるので、通知していくことに意味はある。

◆国民健康保険診療所特別会計

マイナンバーカードの保険証利用に対応するための設備整備を行う。

◆予算額 594万円

前年度比 94万円増

◆後期高齢者医療特別会計

保険料と、保険料を財源とする給付金、保険基盤安定制度などの負担金が主なもの。

◆予算額 3億1,306万円

前年度比 95万円減

問 辰野町の2割負担対象者数は。

答 現在1割負担が96%だが、制度改正後は1割負担が82%、2割負担は14%の590人になる。

◆辰野病院事業会計

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、経営は厳しいが、ワクチン接種も町と一体となっていり、順調に進んでいる。地域包括ケアシステムの構築に積極的に参画し、医療と介護の連携を図っていく。一般会計からの繰入は5千万円減の4億円。

◆予算額 25億1,930万円

前年度比 1億2,055万円増

問 訪問介護、居宅介護支援事業に力を入れていくが収益を上げていく方向性は。

答 それぞれの事業だけでは収益は厳しいが、全体に波及する効果はある。

問 居宅介護支援事業の増加は。

答 現在、主任ケアマネ1名だけなので、ケアマネの資格がある職員を充てるなど、新たな利用者を増やし、医療と介護を繋げていきたい。

要望 経営改善された成果を病院だよりなどで、わかりやすく町民に周知してほしい。

◆介護保険特別会計

地域包括支援センターの運営、介護保険の保険給付、介護予防・日常生活支援総合事業、認知症総合支援事業、家族介護支援事業などを行う。

◆予算額 22億1,569万円

前年度比 8,920万円増

問 高額介護予防サービス費相当事業とは。

答 負担限度額を超えた時に保険が負担するもの。

以上、特別会計・事業会計予算の5議案について委員全員で可決すべきものと決しました。



川島一ノ瀬の介護予防活動



訪問看護ポスター

条例審査

◆国民健康保険支払準備基金条例の一部改正
国民健康保険の健全な運営のために、必要な財源に充てる場合に、基金の処分ができるように改正したものの。

問 町の国保会計に一般会計から繰入れた場合に、国からのペナルティーは何かあるか。
答 赤字解消に向けた報告を求められることがある。

以上、条例案1件は全員一致で可決すべきものと決しました。

町長への要望

★地域包括ケアシステムの構築において、医療と介護の連携の更なる事業推進のために、辰野病院の居宅介護支援事業を含めた在宅療養支援の充実を

町長

安心して在宅療養が出来るように辰野病院における訪問看護や訪問リハビリ、また昨年9月に開設した辰野町居宅介護支援事業所の体制を充実させ支援していく。さらには辰野病院と保健福祉課が連携し医療と介護、病院と在宅の橋渡しを担っていく。

★荒神山スポーツ公園の在り方について将来ビジョンやランドデザインを明確にした事業の推進を

町長

荒神山スポーツ公園は平成24年度に策定した荒神山スポーツ公園基本構想と平成28年に策定した基本計画で今後の整備方針を定めている。この構想、計画に基づき施設の立地、特色を活かし魅力アップと連携を図ることで、年齢や障がいの有無に関わらず、多くの人々が安心して利用でき心身の健康づくりや自然、文化に触れ合い学べる場、いざという時の防災拠点など多様な機能を持つ公園づくりを進めていく。

現地調査した令和4年度予算の主な事業はこれ！

保健福祉センター空調設備改修工事



町 空冷ヒートポンプマルチエアコン54台設置。ランニングコストの軽減とこまめな温度管理が可能になります。

議会 大規模改修工事であり、活用についてはこれからしっかり考えて。

美術館2階展示ケース内天井改修工事



町 美術館の展示ケースの工事をを行い展示ケースが明るく見やすくなります。

議会 すでに実施された展示ケースを見て明るさが全く違うと実感。



天然記念物再生事業（シダレグリ自生地）

議会 特定外来植物の除去作業は指定区域の周辺も行うのか。

町 作業人数に限りがあり、周辺は花を刈り取っている。



いっ ぱん しつ もん
一 般 質 問

一般質問には 13 名の議員が登壇いたしました。ぜひ各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち		
新年度予算について	池田	P12
荒神山スポーツ公園の活性化について	池田	P12
太陽光発電施設設置と土地利用について	樋口	P12
辰野町景観計画の進捗について	津谷	P15
川島地区を過疎法対象地域指定にすべき検討を	矢ヶ崎	P16
少子化対策について	山寺	P16
関係人口と移住定住について	山寺	P16
みんなが活躍できるまち		
収益事業施設の管理運営について	吉澤	P11
町民の要望や意見を直接取り入れる施策とフォローについて	池田	P12
若者の就活支援について	古村	P14
災害支援チームの活動について	古村	P14
教員の負担軽減を図るために	矢ヶ崎	P16
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち		
補聴器購入助成について	吉澤	P11
高齢者の移動手段として公共交通 + 外出支援訪問型 D サービスの取り組みについて	小林	P11
コロナ禍の生活支援とワクチン接種について	樋口	P12
子宮頸がんワクチン接種の再開に関する課題について	向山	P13
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援等について	瀬戸	P14
子宮頸がんワクチン接種について	瀬戸	P14
安心した出産ができるための支援について	瀬戸	P14
国民健康保険税の均等割の軽減について	瀬戸	P14
带状疱疹の早期受診と予防の推進について	津谷	P15
ワクチン接種について	松澤	P15
歯科検診について	松澤	P15
4月から本格始動する「ゆいっこ」について	山寺	P16

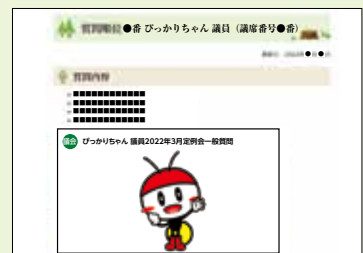
次代を担う人材が育つまち		
川島小学校統廃合問題検討のすすめ方	吉澤	P11
川島小学校の現状と今後について	樋口	P12
タブレットの利用状況と子どもたちの変化について	樋口	P12
平出保育園のあり方について	向山	P13
人口減少問題について	舟橋	P13
教育現場における防災教育について	古村	P14
新学期を迎える子どもの心のケアについて	津谷	P15
奨学金返還支援について	津谷	P15
小中学校のオンライン授業について	松澤	P15
コロナ禍における学校教育について	小澤	P17
川島小学校はいつ統合されるのか	小澤	P17
川島区小学校児童の通学環境整備を	小澤	P17
活力と魅力ある仕事のあるまち		
農業の課題について	小林	P11
若者農業者支援と遊休農地活用・6次産業化を進めるプランについて	小林	P11
有機農法の必要性について	池田	P12
農業振興と食の安全をめぐる課題について	向山	P13
農業振興について	舟橋	P13
町の商業支援と発展について	舟橋	P13
「みどりの食料システム戦略」について	矢ヶ崎	P16
持続可能な地域農業について	小澤	P17
安全で快適に暮らし続けられるまち		
板沢地区最終処分場建設計画について	向山	P13
大雨災害の復旧状況について	古村	P14
指定避難所適地の検討を	矢ヶ崎	P16
農業集落排水処理施設の維持管理について	小澤	P17

一般質問を動画でご覧いただけます

- ①お手持ちのスマートフォン、タブレットで議員写真横のQRコードを読み取ってください。



- ②議会一般質問録画継ぎのページに移動します。定例会における一般質問の様子をご覧ください。



※QRコードリーダー（QRコード読み取りアプリ）がダウンロードされていないとQRコードの読み取りができないことがあります。ダウンロードされていない方は、事前にQRコードリーダーをダウンロードしていただくようお願いいたします。
 ※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
 ※各議員のQRコードが読み取れない場合は、本誌表紙のQRコードを読み取り、議会一般質問録画継ぎへ移動し、ご視聴ください。
 ※QRコードから該当ページを視聴できる期間はおよそ一年間です。

パークホテル・かやぶきの館の管理運営見直しを



吉澤 光雄 議員

町長
設置目的が失われない限り、適正管理する

問 パークホテルとかやぶきの館は、雇用や観光で貴重な役割を果たしているが赤字が続き、コロナ禍で大きく膨らんでいる。町はコンサルタントや税理士による経営チェックを、どう行って来たのか。

副町長 専門家によるチェックは行っていない。

問 かやぶきの館の屋根のふき替え費用は。両施設の今後の経営見直しは。

課長 屋根は平成 24、25 年度に一部ふき替えたが、1 千万円単位の工事だった。全体のふき替えもいずれ必要になるが、見積りは取っていない。

課長 パークホテルは雇用調整助成金を最大限使ってもらおう。営業の縮小についても意見交換を始めた。

問 コロナ禍が続く限り赤字全額補填を続けるのか。

課長 両施設は、管理運営を指定管理者に任せている。経営判断は、今後も業者と協議していく。

要望 両施設を生かしながら、町の負担を減らす必要がある。専門家による経営分析や検討委員会を立上げるなど、町が主導して見直しを進めてほしい。何よりもコロナ禍で困っている町民や事業者みんなに、平等に支援を強化してほしい。

補聴器購入助成を



補助求められる高価な補聴器

問 介護予防や認知症予防のためにも助成制度を。

課長 国の支援制度ができれば、助成も検討したい。

川島小統廃合問題は

問 統廃合の唯一の理由が、児童が少なすぎて子どものために良くないというものだが、川島小児童の学力や体力が低い、いじめが多いなどの事実があるのか。このことについて、保護者は何と言っているのか。

教育長 保護者からは川島小のすばらしさ、我が子の学びの姿、学校に対する思いなどの意見を聞いた。意見には微妙な違いがあり、公表はしない。

「えごま若者農業者未来基金」創設を



小林 テル子 議員

町長
若者農業者支援をえごまに限らず検討したい

町の農業の担い手の状況は

問 農業の担い手、新規若者農業者、大型農業者の人数、耕作面積の5年間の推移は。

課長 新規若者農業者は5年間で7人、大型農業者は17社、大型農業者の耕作面積は133haから180haと増加集約されてきている。

問 新規若者農業者への町独自の就農支援金はあるか。また遊休農地の活用は進んでいるか。

課長 県の新規就農者育成対策事業で補助金があるが、町独自の支援金はない。また遊休農地には鳥獣被害の少ない作物を進めていきたい。

若者農業者支援を進めるプランは

問 食の革命プロジェクトの6年間の成果は。

課長 5つの部会があり、雑穀の里プロジェクト部会のえごまは町民の関心が高く、今年66人が種をもらい栽培に参加する。

提案 若者農業者支援と遊休農地活用と6次産業化を前進させるプランを。若者農業者を支えるための「えごま若者農業者未来基金」を創設しては。えごま油を買って使って協力できる。遊休農地解消にも繋がる。

課長 えごまに限らず、就農支援できるように基金について町民の皆さんと検討していきたい。



プロジェクトのえごま

デマンドタクシーの利用者アンケート実施状況と改善案は

課長 昨年11月から利用者に聞き取り調査を実施。その意見を反映させ、6月の地域公共交通会議に改善案を提案する。より自由度の高い予約方法ドアツードア運行の提案を予定している。2022年度はデマンドタクシーの変換期とする。

人生100年時代、公共交通にプラスして要介護者の外出支援を行う訪問型Dサービスの検討を

課長 訪問型Dサービスは制度が使いにくい。幅広く町民が使える移動手段について検討したい。

要望 町民に移動手段の実態アンケート調査を。

池田 睦雄
議員



令和4年度予算の
強化したところは

町長
特にコロナ対策と
防災・減災対策

町長 安心・安全を土台とする考えから新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種と防災・減災対策に力を入れる。防災・減災対策では災害支援チームTTT（辰野助け隊）の結成、防災リュックの斡旋、住民参加型防災マップを作成する。

問 人口減少の中、未来創造型予算とは何か。

町長 結婚・子育て支援の強化、トビチホテルの開業、ゼロカーボン対策、デマンドタクシーの利便性向上で町民が夢と希望を持てる予算。

ふるさと納税制度の最大活用に向けて

問 クラウドファンディング活用の考えは。

課長 寄付の使い道を明確にし、プロジェクトごと寄付者の実感と共感が得られるように受入環境を準備する。

有機農業の課題は

課長 従事者が高齢化し若い世代が少ない。労力がかかり栽培技術が安定しないため、収量のばらつきと販路の開拓が難しい。

町民の要望や意見の受け止め方は

課長 区長会、女団連会議以外に郵送、持参や町長への声投書で受け付けている。町長が確認し関係課に回付、検討する。要望者には懇談や書面で回答。



投書ポスト 庁舎1階

荒神山スポーツ公園の活性化について

問 陸上競技場の芝生化を研究しているか。

課長 他施設のヒアリングで芝生は水の確保や芝刈り等維持管理に莫大な金額がかかり、これ以上の検討はしていない。

町長 団体から要望はなくランニングコストの研究には至っていない。

問 荒神山陸上競技場にふさわしい芝生化の調査研究はしないとの考えで良いか。

町長 一般論で芝生は喜ばれるが、芝生化は困るとの声もあり判断できない。

樋口 博美
議員



太陽光発電施設
規制強化と条例
改正は

町長
森林伐採、野立分割案件
の規制を議会へ提出

太陽光発電の条例改正へ向けての考え方は

町長 森林の保水能力の向上、また地元区の負担軽減を踏まえ対応していく。

課長 環境審議会においては、森林伐採を伴う開発、また低圧分割案件について規制が必要との意見があった。

川島小学校の現状と今後は

問 統廃合に向けての現状は。

教育長 経過説明を保護者に伝えている。様々な思いがあることを理解している。

問 地元との話し合いは。

教育長 統合と地元の問題は切り離していく。統合が決まった後、地元と話し合っていく。

問 なぜ子どもたちの声を聞かないのか。

教育長 テープで聞いている。様々な声は受け止めている。自分の思いを押し殺している子もいる。これからも聞くことは考えていない。

問 統合によって子どもが通えなくなったらどう責任を取るのか。

教育長 現在登校している子どもたちは十分配慮をする。

問 昨年2月の懇談で、川島から西小へ通う子どもたちをスクールバスに乗せる私の案はどうなったのか。教育長は乗せたいと言った。

教育長 保護者の声を今年の2月聞いたところ、保護者はスクールバスに乗せることは考えてもみなかったと言う。定期券と回数券も含めて町と詰めていく。

問 12月議会で、他市町村の子どもは受け入れないとの答弁があったが、受け入れしないのか。

教育長 いじめ等の理由で希望があれば受け入れていく。

意見 川島小の子どもは素晴らしく成長している。この学びを無くして辰野の教育はどこに向かうのか。夢と希望の持てるまちづくりとかけ離れている。個々を尊重し少数でも学べる環境は残すに値する。



川島小学校

その他の質問

- ・コロナ禍における生活支援
- ・タブレット利用状況

板沢最終処分場 町として 向き合い方は

町長

「強行する考えはない」
を重く受け止める



向山 光
議員



問 湖北行政事務組合は「適地であり、引き続き、地元住民の理解を得るために取り組みを進める」としているが。

町長 積極的な交渉を進める考えは今のところない。「下流域住民の理解が重要。現状、計画を強行するつもりはない」との明快な回答が全てと受け止めている。

平出保育園、あり方についての検討の方向は

課長 新たな検討課題もある。竜東地区住民への説明会を行い、そこでの意見を評価に加え、町の考えをまとめていく。

問 教育委員会の結論に対して町長が異なる考えを示すことはないか。

町長 主管課と常に情報を共有し、協議しながら検討しており、方針も一緒に決定する。



移転等注目の平出保育園

子宮頸がんワクチン接種、十分な理解を

問 子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が再開された。効果や副反応など十分な周知が必要では。

課長 国から示された知見を踏まえ、リーフレットで個別に通知等する。

要望 再開に際しての一過性でなく、ホームページなどで、常に目につくように周知を。

有機農法を通じて食の安全確保とブランド化を

問 有機農法について辰野独自の基準設定は。

課長 独自の基準設定は専門家の意見をもらわないと進められない。関東農政局とも相談したい。

問 ゲノム編集・遺伝子組換え作物でない表示を。

課長 様々な皆さんの意見をいただき、どのように進めるか、農業振興ビジョン等に入れられれば加えたい。

小中学校の 学校給食の 地産地消率は

町長

6月と11月の調査では
概ね 21.2%となった



舟橋 秀仁
議員



問 更なる地産地消率上昇に向けた施策は。

課長 ①生産者の負担軽減のため、学校からの注文や作物の集荷、学校への納品を担う集落支援員1名の継続配置。②生産者と学校間にある希望価格差を埋めるために費用を助成（令和4年度予算「給食の地産地消支援制度」）。

問 (株)フードアーキテクトラボとの協定事業の進捗状況は。

課長 今後空き住宅を活用して本社の移転と加工場建設を予定。加工場の稼働には時間を要するため、まずは町の一次産品の販売から始める。

町長 農業振興、6次産業化の推進、ふるさと納税返礼品の開発や首都圏等に保有される約40店舗での販売にも期待している。

副町長 定期的に協議をしており、来年度の事業展開についても話している。事業推進のために専任を置くことも検討中。

要望 町の発展に大きく寄与する企業となりうるので全面的支援を。

町の商業支援と発展について

問 コロナ禍で苦しむ商店への支援策は。

町長 コロナ禍の影響でお客様が減り、大きな打撃を受けている。国の事業復活支援金を受給した町内事業者を対象に20万円を支給予定。

問 「地域商業複合化事業」の概要と狙いは。

課長 経済産業省所管の補助事業。町の活性化や関係人口等の増加を目的に「トビチホテル」を開業する事業体に補助するもの。商業エリア内の空き物件を、交流スペースを持つ宿泊施設に改修する。町内で開業や出店を希望する方々への研修を開催し、ワーケーションや観光を目的とした長期滞在にも対応。商店や町の施設の利用も促進する。



「トビチ商店街見学会」の様子

その他の質問

・人口減少問題について

こむら 幹夫
みきお
議員



若者の活躍を町が
認証し、就職活動
を支援する制度を

町長
就活を支援するもの
として有望な制度

問 辰野町学生消防団活動認証制度を応用し、学校外での活躍を町が認証し、若者の就職活動を支援する制度を創設しては。

町長 辰野町としては、職員採用の際に地域活動に積極的に取り組んできた実績を高く評価し、考慮したいと考えている。この提案は大変良い考えだと感じている。

課長 若者自身が主体的・自発的に行い、公共的または公益的な実践活動について評価され、認定するようなものが良いのではないかと。

8月の大雨災害に対する復旧支援などの申請について、現時点での進捗状況などを示すべきでは

課長 担当課から随時、地元区に連絡をしてきた。年度の切り替えになるので、3月の区長会において改めて現状をまとめ報告した。



道路を塞ぐ大量の土砂

教育現場における防災への取り組みは

教育長 教育委員会では、防災教育を計画的に仕組むことを決めた。今年の7月末には教員の合同研修として、防災士の有賀元栄氏の講演を聴く予定。避難所に指定されている小中学校における教職員の役割については、検討を重ねている。

辰野助け隊（TTT）の隊員を機能別消防団員としては

町長 活動中に負った身体的な損害に対し、公務災害補償制度が受けられることや、一般の団員と連携できる利点もある一方、指揮命令系統の混乱や活動の硬直化などが懸念される。コーディネーターやメンバーと相談しながら活動環境を整えたい。

せと 純
じゆん
議員



子宮頸がんワクチン
接種後のケア体制
整備を

町長
接種医療機関・県指定
協力医療機関で連携する

小学校休業等対応助成金申請の周知を

問 コロナ感染で保育園や学校が休校となり、保護者が仕事を休む場合は、助成金が支給される。事業者・保護者への助成金の周知をすべきだ。

課長 町内事業者には、既に通知した。保護者へはこれからオクレンジャー等で周知していく。

仕事が休めない保護者へのサポート体制は

問 休校中に家庭で子どもの世話ができない場合のサポート状況は。また、ファミリーサポート事業は利用できるのか。

教育長 保育園や学校で預かった。緊急時は町民会館で臨時保育所設置を考えている。ファミリーサポート事業は利用できるが、協力会員を増やすことが課題。

保育園・小学校施設の消毒体制と
消毒業務委託及び職員確保の考えは

教育長 学校のトイレ清掃は週2回業者委託し、教室等は教職員や保育士、町職員が消毒をしている。町独自の人員確保は難しいが、状況によって考えたい。

要望 コロナ感染症対応として、幼稚園・学童保育等で働く職員に対するの処遇改善「保育士・幼稚園



東小学校男子トイレの様子

教諭等処遇改善臨時特例事業」が実施される。町正規職員の保育士も対象とするよう要望する。

外出ができない自宅療養者への支援は

課長 独居者へは、保健所が1週間分の食料等を支援。濃厚接触者は、買い物は良いとされている。

町内に出産場所がない辰野町。
妊産婦への通院等移動支援を

課長 町内タクシー事業者での24時間対応は困難。
副町長 引き続き検討する。

その他の質問

・国保税均等割の軽減について

子どもたちの心のケアに向けた相談体制の強化は



津谷 彰 議員

町長

ICTの活用や学校支援員の在り方を検討

新学期を迎える子どもの心のケアは

問 子どもは、生活や環境の変化に敏感。児童・生徒の心のSOSの傾向や状況は。

教育長 コロナ禍や、離婚・再婚の増加による家庭環境の変化による影響が多い。①頭痛や腹痛などの身体への不調②いつも以上に甘えたり、乱暴な態度を取るなどの行動の変化③イライラしたり、怒りやすくなったり感情の起伏が激しくなるなどの変化が見受けられる。

問 安心して新学期に通えるようにするための教育現場や家庭に向けた心のケアの取り組みは。

教育長 入学前に教室の位置などの環境や、入学式当日の動きなど丁寧な説明を徹底した。保護者には、心と身体の相談室の周知をしている。

帯状疱疹の早期受診と予防の推進は

問 50歳を超えると罹患する割合が多くなる。ワクチン接種による予防効果の認識や周知は。

課長 免疫を強化し、発症と後遺症予防のためにワクチン接種は有効なものと認識する。広報や町ホームページに掲載して周知していく。

問 健康寿命の延伸やQOLの維持の観点から、ワクチン接種の啓発、費用助成の検討を求めるが。

課長 今後、国により定期接種と位置付けられた時に助成制度が必要か検討する。

辰野町景観計画の進捗は

問 策定後2年経ったが辰野町景観計画の進捗状況は。

課長 広報や町ホームページで計画の内容を掲載。全戸に概要版を配布した。景観に関する講演を企画したがコロナ禍により実施できなかった。ルールに基づく届出制度は住民に広く周知してきた。

問 一定規模以上の建設行為の届出状況は。

課長 規模や色彩などの基準が定められているが、基準から外れる届出は無かった。工事着手30日前までの届出が守られていないケースがある。



王城山からの景観

その他の質問

- ・町や企業による奨学金返還支援制度の導入は

コロナワクチン接種状況は



松澤 千代子 議員

町長

町内外の医師等の協力により上伊那では最速

問 町内のワクチン接種状況と11才以下の子どものワクチン接種の見通しは。

課長 3月7日現在、町内の接種率は1回目91.2%、2回目90.8%、3回目47.6%である。県の3回目接種率は24.3%であり、県の平均を大きく上回っている。3月末には対象者の7割、5月末には終了することを目指している。また1回目、2回目の希望者の受付も、3回目接種に併せて行っている。5～11才の子どもの接種は意向調査を行ない、繰り上げて3月29日から接種を開始する。

小中学校のオンライン授業の状況は

問 小中学校の臨時休業や学級閉鎖に伴うオンライン授業は。

教育長 国のGIGAスクール構想とコロナ感染拡大がオンライン授業を一気に進めることになった。町内の児童生徒は、早い段階から一人一台のタブレット端末を自由に使いこなせるようにしていたため、2カ月でオンライン授業が確立できた。また授業はもちろんだが、先生や友達との会話もタブレット上で楽しんでいるようだ。



南小のオンライン授業風景

問 分散登校についての対応は。

教育長 ハイブリット方式の辰野モデルとして、5つの保障をする方法を考えている。午前グループと午後グループに分けて、学び・つながり・体力・給食・規則正しい生活の保障をするもの。

高齢者の歯科健診を増やすことはできないか

問 8020運動のためにも80才代の歯科健診を。

課長 8020運動においては、歯科口腔保健事業が大切だと認識している。しかし、今の時点では今年度から始めた71才健診を定着させていくことに注力し、回数を増やすことは考えていない。

やがさきのりお
矢ヶ崎紀男
議員



環境に配慮し
持続可能な
農業の実現は

町長
2050年を「まだ、先」
とは考えない

みどりの食料システム戦略は

問 食を中心とした地域経済活性化にどのように取り組むのか。

町長 国が有機農業推進の目標期限とした2050年を「まだ先のこと」などと捉えず取り組む。



有機野菜マルチ

課長 食の革命プロジェクトを中心に進めている。フードアーキテクトラボとの包括連携協定を結び、新たな特産品の開発に期待する。

問 有機農法推進の町宣言を。

課長 各方面の意見を参考に考えたい。

教員の負担軽減を

問 部活に地域移行の試みの検討を。

教育長 町教育委員会内に「辰野中学校運動部活動あり方検討委員会」がある。朝部活や休日の部活に対して、協議し方向性を出してきている。

指定避難所適地の検討を

問 町内の指定避難所は何カ所か。

課長 指定避難所は84カ所。

問 指定緊急避難所は。

課長 14カ所。

問 指定避難所と指定緊急避難場所との区別を図るべきでは。

課長 指定避難所とは避難した住民が災害の危険性がなくなるまで滞在、または自宅に戻れなくなった住民が、一時的に避難生活を送る施設。指定緊急避難場所とは、災害が発生もしくは発生する恐れがある場合にその危険から逃れるため、緊急避難する場所で地震や洪水など災害種別に応じて指定するもの。



南湯舟公民館

川島地区を過疎法対象地域指定にすべき検討を

課長 人口要件では長期、中期のいずれか、「かつ」財政力要件を満たすことで過疎地域に指定される。辰野町は、財政力指数のみ要件を満たすのみで他の要件は満たしていない。

やまでら
山寺はる美
議員



「ゆいっこ」
この事業の
目指すものは

町長
生活支援の
柱になってもらいたい

問 10月からのお試し期間中の登録人数とマッチング件数は。

課長 登録サポーターが24人、利用会員が18人、マッチング件数は15件あった。

問 本格実施に向けた改善点や課題は。

課長 サポーターが名札を付ける。使用車に活動中であることを知らせる「ゆいっこ」のマグネット式ステッカーを付ける。また利用時間の算定基準を変更した。今後も必要に応じて改善する。

問 この事業への町長の思いは。

町長 「ゆいっこ」が町民に広く浸透し、活動の幅を更に広げて、世代や分野を超えた地域共生社会の実現を目指すことを期待する。



4月から本格始動する「ゆいっこ」

少子化対策について

問 少子化対策で結婚支援は最重要課題と思うが、婚活プロジェクトの設置は。

課長 当面は庁舎内にある女性活躍推進プロジェクトと若者活躍推進プロジェクトを中心に進める。

要望 AIを取り入れた県のマッチングシステムの活用と同時に、庁舎内の若者活躍推進プロジェクトに婚活支援チームの設置を。

関係人口と移住定住の施策は

問 関係人口と言われる人達は、町とどう関わっているのか。

課長 地域の担い手不足を、関係人口と言われる地域以外の方々が補っている。町に何人移住したかではなく、町に新たに何が実現したかがポイントで、町に従来なかったことが、新たに起こっていると感じれば、それが関係人口の成果と考えていただきたい。

農事組合法人たつの営農に対する町からの活動支援は

町長

所有するコンバインの購入に対する補助



小澤 睦美 議員



持続可能な地域農業の実現に向けて

問 今後たつの営農の果たす役割は益々大きくなるが、町としての指導は。

課長 インボイス制度開始を見据え、一体化した経営体の組織とするため、専門部会を立ち上げ、地区説明会を行っている。

コロナ禍における学校教育は

問 学習指導要領が求めている対話的な学びができないが、学校教育をどのように行うのか。

教育長 子ども達の命と健康を守り、友達や先生と関わるなかで、対面授業とオンラインを併用した町独自のハイブリット方式を進めたい。

川島小学校はいつ統合されるのか

問 なぜ、統合への進展がないのか。現在の取り組み状況と、総合教育会議はいつ開催されるのか。

教育長 川島小学校に通っている保護者等の疑問と不安を払拭するため計画している懇談会が、コロナ禍により開催できないため前に進めない。

課長 総合教育会議は、町長と教育委員会の意見を一致させる場であり、とても重要な会議である。しかし、コロナ禍における現時点では準備不足で開催する状況にはない。したがって、今後の状況をみて判断したい。



なぜ、統合への進展がない川島小学校

なぜ、統合への進展がない川島小学校は準備不足で開催する状況にはない。したがって、今後の状況をみて判断したい。

川島区小学校児童の通学環境整備を

問 バス利用・通学補助金の支給並びにスクールバスの利用について、町長との協議結果は。

教育長 定期券という方向で検討したが、保護者との懇談の中で、回数券の要望があったため、回数券ということも含めて町と協議したい。

農業集落排水処理施設の維持管理を町で実施を

問 現在草刈り等処理施設の維持管理並びに使用料徴収を地区の管理組合が実施しているが、地元の負担軽減のためにも、町が行えないか。

課長 農業集落排水協議会、地元とのヒアリングを通じ対応していきたい。

第36回町村議会

広報全国コンクールで編集デザイン賞を受賞

他市町村の議会だよりを参考に試行錯誤してきました。長野県では当議会のみを受賞となりました。



賞状・記念品と議会だより79号(令和2年発行)

審査委員の講評から

決算認定に際し、事業の現地写真を使って紹介、イメージが伝わります。「中学生議会」の様子もリアルです。「町民の声」の住民写真など、生気にみちた表情から活気が伝わります。

子育て世代の女性タウンミーティング ご参加ください!

日 程：令和4年7月2日(土曜日)

時 間：午後1時半～3時

場 所：辰野町町民会館 大会議室

内 容：ワークショップ形式で悩み事
お困り事などをお話ください

募集人数：20人

託 児：希望者は申込時にお伝えください

申し込み：辰野町議会事務局 41-1111

締め切り：6月20日

*当日は新型コロナウイルス対策を十分行って開催します。

*感染状況によっては中止となる場合があります。

鈴木 皖之さん(赤羽)



知力・体力の衰えはありますが、好奇心を保ち、挑戦を心がけたい。仲間と共に恩師を偲ぶ会と合唱団OB会を開催予定。個人的には7,000歩以上のウォーキングを継続。行政には「SNSの活用を含め、町内広域に目安箱の設置」を要望します。若い人、学生たちの貴重な意見、危険個所の指定もあれば、災害、有事への備えとしても大事では？

赤羽 澄江さん(上辰野)



今年の3月に長女が小学校を卒業しました。友だちや先生に見送られた温かな卒業式でした。辰野っていいな!と。

町への要望です。辰野町在住の小学生はアラパの利用料を無料にして欲しいです。体を動かすことが大好きな子が一人でも増えたらいいなと思います。

私たちは今年で定年退職を迎え第二の人生のスタートとなります。今までは、仕事、子育て、家事、地域活動、趣味等忙しく過ごしてきました。これから時間ができるので今までできなかったこと、興味を持ったこと少しずつやっていこうと考えています。

根橋 光彦・みゆきさん(川島)



山口 理絵さん(宮木)



新しいスタート
2022年の春 それぞれの思いや
町・議会へ望むことなどをお聞きしました

町民の声

4月になり、我が家の4人の子どもたちも、それぞれ新生活が始まりました。その中でも長女の中学校入学と、三女の保育園入園(0歳時からお世話になっているので、ようやく!)は、本当に感慨深いものがあります。楽しいことを沢山し、免疫力を高めて元気に生活していきたいと思います。

4月から1年生の娘は新生活に期待がいっぱい目を輝かせており、新しい世界に飛び込む喜びを教えてくれます。そんな娘に負けず、チャレンジを楽しみ、自分をアップデートし続けていけたらと思います。最後に一言、登下校時におけるあらゆる危険からの子どもの安全確保を望んでいます。

吉橋 順子さん(上島)



次回定例会のご案内 6月定例会予定

- 開 会 5/31(火)
- 一般質問 6/7(火)・8(水)
- 委員会審査 6/9(木)・10(金)
- 閉 会 6/15(水)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください

編集後記

町民の皆様には議会を少しでも身近に感じていただきたい、という思いで年4回この議会だよりを発行しています。お気付きの点、要望などございましたら、気軽に議会事務局までお寄せください。

議会広報編集委員 山寺 はる美

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。